

9月 ばんびだより

奈良市立高円こども園
子育て支援室
令和7年9月発行

まだまだ夏と変わらないような暑さが続いています。耳をすますとスズムシ等の鳴き声が心地よく聴こえてきます。子ども達は、たくさん食べて、たくさん遊びながら…しっかりと休息も取って、9月も体の変化に気を付けながら元気に過ごしていきたいですね。

休み明けに、元気な姿で来てくれた子ども達です。今月も、水・氷・寒天などの感触に触れて遊んだり、室内でしたい遊びをしたりして楽しみたいと思います。

9月のうた

とんぼのめがね

とんぼのめがねは みずいろめがね
あおいおそらを とんだから
とんだから

とんぼのめがねは ぴかぴかめがね
おてんとさまを みてたから
みてたから

とんぼのめがねは あかいろめがね
ゆうやけぐもを とんだから
とんだから

《たんぽぽ・すみれ組》



魚釣り！
よ〜く狙っ
て魚つれる
かな？



車が好きな
Aくん♪
消防車に乗っ
てブーン！



《ひまわり組》



音楽に合わせて手をパチパチ♪



さかな つれたよ〜！



こそだて応援！メモ



ひとつひとつ、 いっしょに喜び

子ども達は、生活や遊びの多くの場面で、身近な大人の援助を受けながらも自分でできることが少しずつ増えていきます。

大好きな身近な大人との安心できる関係の中、協力しながら歩む一歩一歩が、信頼と自信を深めていく過程となります。

何か新しいことが「できるようになる」ことは、子どもにとっても、見守る大人にとっても嬉しいことです。

子どもの気持ちを受け止め、自分の喜びと重ね合わせるように言葉を添えて伝えてみましょう。

子ども自身の喜びが確かなものになっていきます。



子どもを全面的に 受け止める大きな気持ち

大好きな身近な大人の優しい表情や穏やかな声は、子どもの心をやわらげ安心させます。

惜しみない愛情を日々受けることは、「自分を見てくれている」という安心感や信頼感につながります。

「見ているよ」「だいじょうぶよ」という、子どもを全面的に受け止める大きな気持ちが、子どもの心を満たしていきます。

そうしたベースがあるから、子どもは主体性を持ってのびのびと遊びの世界を深めていくことができるのです。

